

2023年10月31日

各位

株式会社北洋銀行

ユニ建材グループ様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、ユニ建材グループ様(北海道夕張郡由仁町、代表取締役 鶴川 和彦様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会社名	ユニ建材グループ
所在地	北海道夕張郡由仁町川端289番地
代表者	代表取締役 鶴川 和彦
業種	砂利採取業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

ユニ建材グループ

サステナビリティ経営方針

当社グループは、経営理念である「環境に優しい会社、地元貢献する会社」と「五省」に基づく企業活動を通じ、当社を支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当社グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。



◆経営理念◆

環境に優しい会社、地元貢献する会社

◆五省◆

- 一、誠実であったか
- 一、恥ずべき行動をしなかったか
- 一、気力は充実していたか
- 一、可能な限り努力したか
- 一、不精をしなかったか

事業に影響を与える環境変化

環境

- 気候変動への対応
- 循環型社会の実現
- 自然災害の激甚化
- 生物多様性の保全

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 業界内の技術者不足
- 価値観の変化による働きがいに対する意識向上
- 地方創生・地域経済活性化への取り組み

ガバナンス ・ 技術

- 製品の安全性に対する重要度の高まり
- コンプライアンスに対する注目度の高まり
- SDGs・ESGに関する経済活動
- 技術革新

重要課題（マテリアリティ）

取組内容

主なステークホルダー

1

製品の安定供給体制構築

- ① お客さまニーズに対応する製品供給

お客さま

2

脱炭素・循環型社会の実現

- ① CO₂排出量の削減
- ② 再生可能エネルギーの利用
- ③ 再生骨材の製造強化
- ④ 製造工程の効率化による環境負荷低減

地域社会

3

従業員の働きがい向上

- ① 幅広いスキル取得に向けた支援
- ② 労働安全衛生の確保

従業員

4

事業を通じた地域貢献

- ① 地元人材の採用
- ② 地域貢献活動の継続

従業員
地域社会

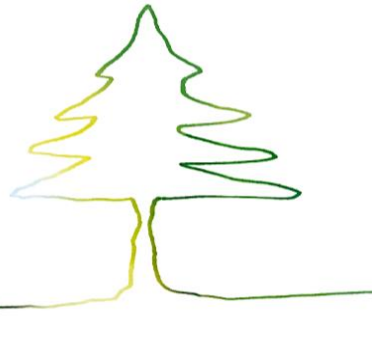
5

デジタル・ICTを活用した生産性向上

- ① ICT建機の活用推進
- ② バックオフィス業務の効率化

お客様
従業員

サステナビリティ経営への取り組み



ユニ建材グループ

当社グループは国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境

当社グループは、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動において環境保全および汚染の予防に取り組みます。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・環境配慮型建機の導入
- ・エネルギー使用量の把握によるCO₂排出量削減
- ・再生骨材の販売推進
- ・貯水池活用による水資源の有効利用
- ・凝集剤の未使用による環境負荷低減
- ・砂利採取地の緑化活動



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 脱炭素・循環型社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	・2025年までにCO ₂ 排出量(SCOPE1・2)の削減目標を設定する
	再生可能エネルギーの利用	・2025年までにマイクロ水力発電設備を導入し、CO ₂ 排出量を削減する
	再生骨材の製造強化	・2028年までに再生骨材の売上高を100百万円に増加させる
	製造工程の効率化による環境負荷低減	・製品の洗浄工程を見直し、CO ₂ 排出量や水資源の使用量を削減する

社会・地域

当社グループは、持続可能な世界を目指し、社会からの期待に応え、企業市民としての責任を果たすために、人権を尊重し、どなたでも安心して働ける環境をつくるとともに、事業を通じた社会への還元を行っています。

また、持続可能な世界を目指し、地元人材の積極採用やスポーツイベント等への各種協賛・ボランティア活動を通じて、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・働き方改革の推進
- ・ふるさと納税や地域イベントへの協賛
- ・OJTや外部研修を活用した人材育成
- ・地元人材の雇用
- ・女性、障がい者、高齢者の活躍に向けた環境整備
- ・由仁町、栗山町との災害協定締結
- ・定期健康診断と健診後のアフターフォロー実施



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 従業員の働きがい向上	幅広いスキル取得に向けた支援	・2030年までに砂利採取業務主任者を20名にする ・資格取得の支援(斡旋・補助・手当支給)や外部研修等の活用を継続する
	労働安全衛生の確保	・労働災害ゼロ件を目指す
● 事業を通じた地域貢献	地元人材の採用	・毎年1名の地元人材を採用し、地元雇用の拡大に貢献する ・定年時に継続雇用を希望する従業員を100%雇用し、地元雇用の拡大に貢献する
	地域貢献活動の継続	・ふるさと納税や各種寄付金、協賛活動などを継続し、地域経済の活性化に貢献する

経済・ガバナンス

当社グループは、経営の客観性・透明性を高め、コンプライアンス体制の強化・充実を推進することを通じて、企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・製品の安定供給体制構築
- ・個人情報保護の徹底
- ・ICT建機導入による生産性向上
- ・コンプライアンス体制の構築、研修実施



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 製品の安定供給体制構築	お客さまニーズに対応する製品供給	・年間40万m ³ の製造量を維持し、道路や建築物など地域のインフラ構築に貢献する
	デジタル・ICTを活用した生産性向上	ICT建機の活用推進 バックオフィス業務の効率化

